



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

## 遠い夢ではない！？アバター技術最前線

### 追手門学院が OTEMON VIEW を開設

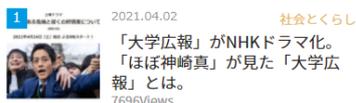
学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：川原俊明)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

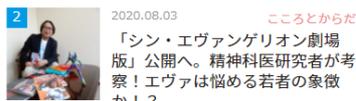
### OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

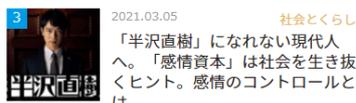
人気の記事 \よく読まれている記事！/



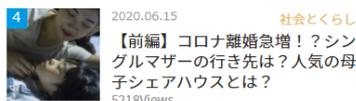
2021.04.02 **社会とくらし**  
「大学広報」がNHKドラマ化。  
「ほほ神崎真」が見た「大学広報」とは。  
7696Views  
OTEMON VIEW編集部



2020.08.03 **こころからだ**  
「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？  
7085Views  
OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 **社会とくらし**  
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。  
6992Views  
OTEMON VIEW編集部



2020.06.15 **社会とくらし**  
【前編】コロナ離婚急増！？シングルマザーの行き先は？人気の母子シェアハウスとは？  
5218Views  
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

### ニュースを教育・研究の視点から

化身という意味の「アバター」技術は、特にゲームの世界で導入が進んでいます。しかし、現状は視界の再現であって、触覚などの感覚、そして「自分がその場に実体感を伴って存在する」という感覚には至っておらず、そのためには人間の感覚の根源に迫る認知科学の知見が必要です。

今回は、大手電機メーカーの研究者として新技術の社会実装に関わり、現在は追手門学院大学でアバター技術の確立に向けて研究する丸野進心理学部教授にアバター研究の最前線を聞きました。

(以下は主なポイント)

#### アバター技術が目指すものとは

- 今、ここにいない人と握手ができる？
- 仮想空間でその場にいる実体感、没入感と感覚を得る

#### アバター技術の現在地と必要な感覚のメカニズム

- 課題は「実体感の再現」と「仮想とリアルの時差」
- 求められる認知科学の知見
- 人間の感覚を学術的に明らかにする

#### アバター研究の未来

- 仮想空間上で真にコラボレーションが出来る環境
- スムーズで臨場感あるオンライン授業や共同研究も
- 海外旅行やアクティビティへの適用

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2131/>



丸野教授のアバター研究。バーチャル空間の中に自分の手がマッピングされる

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西